

各位

2018年10月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年8月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 104.2%、学生団体は同 102.3%と前年を上回り、団体旅行合計で同 102.9%と前年を上回った。企画旅行については前年比 98.0%と前年を下回り、個人旅行については同 123.6%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 105.1%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 111.3%、学生団体は同 123.9%と前年を上回り、団体旅行合計で同 117.9%と前年を上回った。企画旅行については前年比 91.0%と前年を下回り、個人旅行については同 100.7%と前年を上回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 96.1%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 116.7%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 8 月の総取扱額は前年比 100.1%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は企業系コンベンションや大会・会議などの取扱人数が増加し、前年比 104.2%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行については取扱人数が減少したが、研修旅行などの取扱人数の増加や取扱単価の上昇により、同 102.3%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 102.9%と前年を上回った。海外企画旅行については、前年比 98.0%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカやアジア、オセアニア方面は好調に推移したが、ヨーロッパ方面一部商品のクラブツーリズム商品への一体化による減少に加え、ミクロネシアやハワイ方面などが低調であった。クラブツーリズムはカナダ、ハワイ、中南米、モンゴル、ミャンマーやオセアニア方面が低迷したが、航空機のチャーター便が多数の集客実績を残したヨーロッパ方面およびアジアや中国方面などが好調に推移した。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 105.1%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、海外エージェントからの受注や個人旅行の宿泊商品ならびにMICEなどの取扱いが好調に推移し、前年比 116.7%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、職場旅行や趣味・テーマ旅行などの取扱人数が増加したほか、国際会議などの取扱いにより前年比 111.3%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱の増加や各種大会などの取扱人数の増加により、同 123.9%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比 117.9%と前年を上回った。国内企画旅行については、前年比 91.0%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、関東や首都圏方面は好調に推移したが、東北や関西、沖縄ならびに中国、四国方面など他の方面が低調であった。クラブツーリズムは、国内旅行部門は道東方面や北東北、東海、伊勢、南紀、中部、九州などが好調に推移した。バス旅行部門は、名古屋発は日帰り旅行を中心に順調に推移したが、西日本豪雨の影響が残る関西が低迷した。また、国内旅行全般において、度重なる台風の上陸によるツアー取消や購買意欲の低下が少なからず取扱高の減少に影響した。以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 96.1%と前年を下回った。

以上